



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社ALiNKインターネット 上場取引所 東
コード番号 7077 URL <https://www.alink.ne.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 池田 洋人
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 高杉 雄介（TEL）03-6907-0158
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	452	—	47	—	56	—	63	—
2024年2月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年2月期中間期 63百万円（—%） 2024年2月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	35.38	34.24
2024年2月期中間期	—	—

（注）当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期中間期の数値及び対前年中間期増減率を記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	1,842	1,667	90.5
2024年2月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 1,667百万円 2024年2月期 —百万円

（注）当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	846	—	15	—	27	—	29	—	16.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社エンバウンド、 除外 一社(社名) 一

第2四半期(中間期)における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

第2四半期(中間期)連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期中間期	2,136,900株	2024年2月期	2,136,900株
2025年2月期中間期	330,068株	2024年2月期	342,068株
2025年2月期中間期	1,802,267株	2024年2月期中間期	1,794,832株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

発行済株式数に関する注記

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大などで緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、金利や為替変動による内外経済の先行きや物価上昇の長期化などの要因もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは“未来の予定を晴れにする”を経営理念として、主力サービスである天気予報専門メディア「tenki.jp」を一般財団法人日本気象協会との共同事業として運営しております。

tenki.jp事業においては、安定的なPV(ページビュー)数の増加とPV当たり広告単価の維持に取り組んでまいりました。

また、2024年5月に株式会社エンバウンド(以下、「エンバウンド」という。)の株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。エンバウンドは地域活性化プロジェクト「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行っており、全国の温泉地との取引関係を発展させてきたことから、地域経済とユーザーを繋ぐハブ機能を担うことができる等の優位性を有しております。なお、エンバウンドは、みなし取得日を2024年5月31日としているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高452,005千円、営業利益47,706千円、経常利益56,326千円、親会社株主に帰属する中間純利益63,758千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(tenki.jp事業)

当中間連結会計期間のPV数は、前年同期比111.7%の35億PVとなり、堅調に推移いたしました。特に、8月は、東日本太平洋側の月降水量が、8月として1位の多雨となる(統計開始1946年)などの影響もあり、単月での過去最高PV数を記録いたしました。

また、PV当たり広告単価は、依然として低迷基調となりましたが、前年同期比97.9%となりました。

費用面に関しては、将来の売上高及び利益の向上を目的として、新たな収益モデルの構築に向けた人件費や開発費等の先行投資を行っております。また、「tenki.jp」の認知度向上施策として、テレビドラマ「ブルーモーメント」との番組連動CMを放映しております。

この結果、売上高355,473千円、セグメント利益157,480千円となりました。

(IPプロデュース事業)

当中間連結会計期間において、「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行う株式会社エンバウンドの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。温泉地でしか購入できない「温泉むすめ」のグッズ販売等は、計画に対し順調に推移いたしました。株式を取得したことによる取得関連費用25,000千円やのれん償却額8,420千円を計上したことなどにより、売上高45,930千円、セグメント損失33,176千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、主力であるtenki.jp事業以外の事業領域の拡大のため新規事業への参入を図っており、太陽光コンサルティング事業及びダイナミックプライシング事業を進めております。太陽光コンサルティング事業につきましては、太陽光発電設備のセカンダリー市場において、一時的に太陽光発電設備を保有することにより、売電収入を得ております。また、ダイナミックプライシング事業につきましては、当該事業に先立つPoC(実証実験)として、首都圏においてレンタルスペースの運営を行っております。

この結果、売上高50,601千円、セグメント利益28,301千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、1,842,047千円となりました。

流動資産は1,537,373千円となり、主な内訳は、現金及び預金761,599千円、短期貸付金504,681千円、売掛金及び契約資産227,550千円であります。

固定資産合計は、304,673千円となりました。主な内訳は、のれん235,040千円、投資不動産18,268千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、174,397千円となりました。

流動負債は168,700千円となり、主な内訳は、買掛金30,245千円、未払法人税等52,295千円、未払金29,790千円及び契約負債18,577千円であります。

固定負債は5,697千円となり、内訳は資産除去債務であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、1,667,649千円となりました。

主な内訳は、利益剰余金1,682,159千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、761,599千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は155,551千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が110,681千円となり、長期前払費用の減少額が40,612千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は231,870千円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が205,656千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきまして、2024年4月12日に公表の業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

当中間連結会計期間 (2024年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	761,599
売掛金及び契約資産	227,550
商品	2,321
貯蔵品	1,686
短期貸付金	504,681
その他	39,533
流動資産合計	1,537,373
固定資産	
有形固定資産	19,662
無形固定資産	
のれん	235,040
無形固定資産合計	235,040
投資その他の資産	49,970
固定資産合計	304,673
資産合計	1,842,047
負債の部	
流動負債	
買掛金	30,245
未払法人税等	52,295
賞与引当金	1,200
株主優待引当金	5,038
その他	79,922
流動負債合計	168,700
固定負債	
資産除去債務	5,697
固定負債合計	5,697
負債合計	174,397
純資産の部	
株主資本	
資本金	138,087
資本剰余金	173,851
利益剰余金	1,682,159
自己株式	△326,582
株主資本合計	1,667,515
新株予約権	133
純資産合計	1,667,649
負債純資産合計	1,842,047

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	452,005
売上原価	186,395
売上総利益	265,609
販売費及び一般管理費	217,902
営業利益	47,706
営業外収益	
受取利息	11,547
その他	2,884
営業外収益合計	14,432
営業外費用	
不動産賃貸費用	4,962
その他	849
営業外費用合計	5,812
経常利益	56,326
特別利益	
保険解約返戻金	54,354
特別利益合計	54,354
税金等調整前中間純利益	110,681
法人税、住民税及び事業税	48,284
法人税等調整額	△1,361
法人税等合計	46,923
中間純利益	63,758
親会社株主に帰属する中間純利益	63,758

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	63,758
中間包括利益	63,758
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	63,758

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	110,681
減価償却費	2,574
のれん償却額	9,120
受取利息及び受取配当金	△11,547
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△65,043
長期前払費用の増減額(△は増加)	40,612
仕入債務の増減額(△は減少)	7,357
未払又は未収消費税等の増減額	66,448
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,200
株主優待引当金の増減額(△は減少)	875
その他	1,018
小計	160,896
利息及び配当金の受取額	11,547
法人税等の支払額	△16,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△13,808
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△205,656
事業譲受による支出	△13,500
その他	1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	△847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,166
現金及び現金同等物の期首残高	838,766
現金及び現金同等物の中間期末残高	761,599

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	tenki.jp 事業	IPプロデュ ース事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	355,473	45,930	50,601	452,005	—	452,005
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	355,473	45,930	50,601	452,005	—	452,005
セグメント利益又は損失 (△)	157,480	△33,176	28,301	152,605	△104,898	47,706

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△104,898千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年5月10日に株式会社エンバウンドの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当中間連結会計期間においてのれんが235,760千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「tenki.jp事業」の単一セグメントとしておりましたが、当中間連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社エンバウンドを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「IPプロデュース事業」を追加しております。また、「tenki.jp事業」における新規事業開発を各セグメントから切り離し、新規事業開発の解像度を向上させることを企図し、新たに「その他の事業」を報告セグメントに追加いたしました。なお、「その他の事業」は、ダイナミックプライシング事業及び太陽光コンサルティング事業であります。